

Catch the eye 2017年2月

2017/2/3 (金) 2017年が発つ
 いよいよ明日は立春。梅田三番街の地下を通ったら、青果店でも恵方巻を販売。ちょっとそそられたけど、食べすぎをひかえ、スルー。

立春はまだ寒い。でも陽ざしは確実に明るくなっている。肌にはキリッとして、天からあつたかさが降り注ぐ。この差がけっこう心地いい。

そういうことが脳を刺激するのか、何かをやろう、始めようという気になる。一年の計が本格稼働するのがこの時期。

立つ春、2017年が発つ。

2017/02/4 (土) 立春の祝宴
 2年前に創業塾で出会った大人なみなさんと季節の同窓サロン。場所はアートサロン「a la main」。立春の祝い膳の内容を調べて一通り用意して下さったお気持ちに皆で感謝。いつも期待どおりの登場のボス、今回は「月光仮面」！
 最近の世相から仕事観、男女観、家庭観など、話題は尽きず、この続きは次回ということでお開きに。さっそく数日後には次回の日程が確定に。



2017/2/13 (月) 中途半端？
 今日も雪マークの予報。先週末も身構えていたけど、大阪市内では霽程度。大阪から鳥取大山へ移り住んだ友人から先週電話があった。「今年は雪で大変」。今週末もまた雪になりそうとか。

「中途半端って、どういうことですか？ 何を指してそう言っているのですか？」。別々の人に同じように聞き返す場面がこの2週間にあった。それがどうして中途半端なの、そう感じてのことだった。

家事や子育て、そして介護。毎日家族や自分以外ことでやる事が一杯。それでも自分のための努力に時間を費やすことは大事だけど、無理をすると必ずシワ寄せがくる、自分自身が自分以外のどちらかに。

無理せずできるのに根気がなくて途中でやめてしまったなら、それは中途半端。家族を守るために自分の役目を果たして、そんな風に考える必要はありませんよ、と力をこめて言った。

悩まなくていいところで悩んでしまったら、今のストレス社会に自分がもたなくなる。まずまず丈夫な精神を授かった者の役割として、彼女、彼らにわずかな糧を提供する。「精神の糧を豊かに」、それが今年のテーマ。

2017/2/17 ディープラーニング
(金)

今日は雨。朝のうちは細かい雨で、春雨の感。昨日はよく晴れ、気温が上がり、今日は16度の予報。ひと雨ごとに春が来る。

先週土曜11日にあったセンス塾のレジメに自分の読書歴を簡単に入れた。＜ワタシ流＞を鍛える2大習慣に読書と記録・記述をあげたので、自分を例を出したのだった。

リストにしてみると、あらためて合点がいく自分のあり様を。人にとってはなおさらかもしれない。日頃言っていること、やっていることにはその背景、ベースの一端がそこに見える。

本業に関する本を読むにはそれは、当然のタスク。その上で多様な知にふれるのが読書。そのはずなのに、タスク自体をあまりやっていない新進起業家が少なくなさそうだと見立てた昨今。

悩んでいるのに、意外と自分では勉強していない。どうして？と素朴な疑問がわいた。ネットで大抵のことは簡単に知ることができるようになり、深く学ぶ習性がつきにくくなっているのかもしれない。

A Iはディープラーニングを進化させているけど、人知は退化させていく？ 気づかないうちに他者への依存を高めていることにもなっていそう。意識して、自分でさらに深く調べる、本を読む、考える時間を。

2017/2/19 京都工芸繊維大
(日) 学

今年度で10回目を迎えた「京都・文化ベンチャーコンペティション」、その最終審査会があった。発表者のうち6名の方のブラッシュアップ個別相談を担当したこともあり、出かけた。アートな審査委員のみなさんの、厳しくも愛情のこもった質問内容に、うなることしばしば。

<文化>の名のつくコンペが京都らしく、発表者もまた、クリエイティブ。いろいろと見聞をひろげられる仕事でありました。



2017/2/24 個人差
(金)

今日はまた寒くなった。でも長続きはしないらしい。梅は満開に近づいてきた。このところ散歩からおのいていて、住宅街の人さまの家で確認するだけだけど。来週の水曜日ははや3月。

仕事を通してたくさんの人と会ってきた。独創的な業ややり方の人も多い。共感したり、感心したりして、本当に世の中にはいろいろな思いをもった人たちがいるものだと、住む世界の多様さを思う。

おかげで自分自身の独自性をも再認識することになる。独立以来、そういう風にして紐解いてきた自分では意識してこなかった自分ならではの要素を。最近ではある程度了解できて、未確認事項もウェルカム。

とにかく人は想像を絶するほど違う。個人差がある。最近気にとめるのは、五感の程度。同じ方向を見ながらも、見えているものが相当に違うのではないか。風が吹いて、肌や鼻先に感じるものは、はてさて。

何かを<察知>する。そのセンサーも人によって相当の強弱がありそう。生きていく上で大事な力だと思い、説いているけど、聞いている人の中にはピンとこない人もいるのかもしれない。そのギャップもまた当然。

2017/02/27
(月) 東京出張

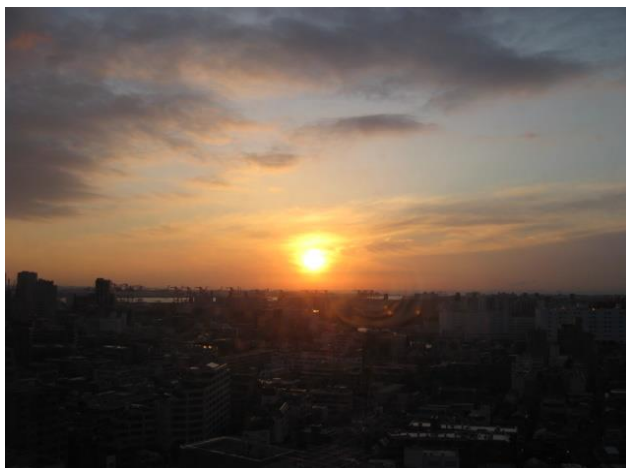
朝6時40分発の「のぞみ」で東京へ。大阪は晴天、途中から席を離れ、車両間のドアサイドで本を読みながらその瞬間を待つ。その時は突然あらわれ、おおーと声を小さく上げ、カメラを向けた。



今年の計の一つは、旧知の人に「会える時に会っておく」。6年ぶりの知人をしばし梅散歩。



朝一番の会議に合わせて起床。ホテルの部屋から日の出を望む。



東洋町での会議を終えて、大手町から歩いて東京駅へ。東京駅正面と皇居をむずぶ、直線道路。ここは歩くのは初めて。





時間は少しまたあったので、最近できたという「KITTE」へ。郵便局のビルが商業施設を併設。屋上には庭園あった。上がってみると、なんともよい眺め。東京駅を真下に見ることができる。風景を見た後は、屋内に並ぶ布張りの椅子の一つに座り、この二日間をふりかえって、手帳に書く。右手の数人先からの囁を聞きながら。



